

しる、きく、まなぶ。 つながる、つたえる、そだてる
全野研60年 全国の仲間・将来を担う人たちとともに

第60回 全国野菜園芸技術研究会 愛媛大会

2015年7月15日(水)・16日(木)
愛媛県松山市で開催

野菜生産者同士が交流し研鑽する全野研大会は回を重ねて第60回を迎えます。
消費者・実需者に信頼される安全・安心で品質のよい野菜の安定生産を図り、自らの野菜園芸経営を安定的・持続的なものにするため、全国の野菜生産者が一堂に会します。
今回は、「しる、きく、まなぶ。つながる、つたえる、そだてる。全野研60年 全国の仲間と将来を担う人たちとともに」をテーマに、全国各地で活躍する野菜生産者の技術・経営、若手生産者、後継者づくりの事例に学び、参加者同士の情報交換を活発にして、技術向上や経営発展を目指しましょう。
会場では園芸機器・資材・種苗の展示会を同時に開催し、生産者の皆様とメーカーの情報交換の場も設けます。
お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

●会期：2015年7月15日(水)～16日(木)

●会場：奥道後 壺湯の守(愛媛県松山市末町267)

主催：全国野菜園芸技術研究会

後援：農林水産省、愛媛県、一般社団法人日本施設園芸協会、
全国農業協同組合連合会、J A 愛媛野菜生産者組織協議会

協賛：全野研協賛会、日本農業新聞、日本農民新聞社

特別協賛：(株)農協観光

■ 7月15日(水) 式典、講演会・事例報告、交流懇親会

11:40～ 機器・資材・種苗展示会 (～18:00)

12:00～ 受付開始

13:00～ 式典開会

主催者挨拶

来賓祝辞・来賓紹介

功労者表彰・感謝状贈呈

13:55～ 展示見学・休憩

14:15～ 講演Ⅰ **次世代施設園芸の全国展開**

14:40～ 講演Ⅱ **愛媛県の野菜の現状と振興施策について**

15:05～ 特別講演 野菜生産新技術

- ・ **可動式光反射装置で収量・品質向上を目指す 光環境の改善技術の検証**

愛媛県農林水産研究所栽培開発室 大西亮樹 氏

- ・ **植物診断ロボットが可能にする高精度成育状態把握と環境調節の知能化**

愛媛大学農学部 准教授 高山弘太郎 氏

15:50～ 展示見学・休憩

16:10～ 産地・生産者・若手生産者の取組み事例発表

- ・ **施設トマト栽培の経営と今後の展望**

高知県 (有)四万十みはら菜園 常務取締役 東 宣雄 氏

- ・ **新規就農者の確保・育成による「志布志ピーマン産地」の再興**

鹿児島県そお鹿児島農協ピーマン専門部

ピーマン技術研究会土着天敵研究班 部会長 下前泰雄 氏

- ・ **中玉トマトと露地野菜等の複合経営で産直市・スーパー・飲食店への直接販売**

愛媛県松山市 風早山本農園 代表 山本克樹 氏

- ・ **反当たり1200万を実現するキュウリ生産**

佐賀県佐賀市川副町 坂田和史 氏

- ・ **いちごの東京への販路拡大**

愛媛県鬼北町 あかまつ農園 代表 赤松拓也 氏

17:25 大会決議・スローガン採択

17:30 次回開催地紹介

17:35 閉会

18:10～ 交流懇親会

■ 7月16日(木) 現地視察研修 (バス利用)

●「皆さんが利用する購入苗の生産現場&最新の植物生育診断技術と環境制御技術」

8:00 奥道後 壺湯の守 発

ベルグアース(株) 宇和島農場視察研修

愛媛大学植物工場研究センター (松山市) 視察研修

14:45 J R松山駅 着

15:15 松山空港 着

●参加区分、参加費等

A. 大会参加費: 6,000円

B. 交流懇親会費: 7,500円

C1. 宿泊費: 8,000円 (朝食付・定員利用の場合)

C2. 宿泊費: 10,200円 (朝食付・2人1室の場合)

C3. 宿泊費: 12,400円 (朝食付・1人1室の場合)

D. 視察研修費: 5,000円 (昼食車中弁当付)

●参加申込方法

- ・参加申込書に、都道府県、氏名、住所、電話、参加区分（A～D）等の必要事項をご記入の上、電子メール、又はFAXで、お申し込みください。
- ・参加申込書は、ホームページ<http://www.zenyaken.com> の愛媛大会開催案内にExcel形式の参加申込書を用意しておりますので、ダウンロードしてお使いください。
- ・申し込みは、Excel形式参加申込書に入力の上、下記E-mailに添付し送信ください。

申込先 E-mail callcenter01@ntour.co.jp

FAX 0986-21-4175

●参加費等のお支払い方法

- ・参加申込書と同時に下記の指定口座にご送金下さい。
(恐れ入りますが送金手数料はご負担をお願いいたします。)
三井住友銀行 神田支店 普通口座 No. 2911186
口座名 全国野菜園芸技術研究会 会長 大山 寛
(ゼンコクヤサイエンゲイギジュツケンキュウカイ カイチョウ オオヤマユタカ)
- ・領収書は、参加者ごと・参加区分の経費を明示したものを受付でお渡しする予定ですが、それ以外をご希望の場合は、領収証の宛名、内容等をあらかじめお申し出下さい。

●参加申込締切 2015年6月30日（火）

- ・参加申込締切を過ぎてからのキャンセルの場合、返金いたしません。
代理の方のご出席をお願いいたします。

●その他

- ・7月15日は、松山空港・JR松山駅から、大会会場の奥道後壺湯の守まで、連絡バスを運行します。バスの出発時間は次の通りです。事前予約は受け付けておりませんので、ご了承ください。

7月15日（水）	松山空港発	JR松山駅発	壺湯の守着
1便	8:50	9:20	9:50
2便	9:10	9:40	10:10
3便	9:30	10:00	10:30
4便	11:10	11:40	12:10
5便	11:30	12:00	12:30
6便	11:50	12:20	12:50

- ・お車でお越しの方は、大会会場の奥道後壺湯の守敷地内の駐車場をご利用ください。
- ・大会2日目の視察研修にご参加の方で、お帰りの際、宿泊会場で下車を希望される方は、お申し込みの際にご記入ください。

●参加申込み・問合せ先

全国野菜園芸技術研究会愛媛大会 参加申込事務取扱

株式会社農協観光 Nツアーコールセンター

E-mail callcenter01@ntour.co.jp

TEL 0570-076-888 FAX 0986-21-4175

●大会会場アクセス

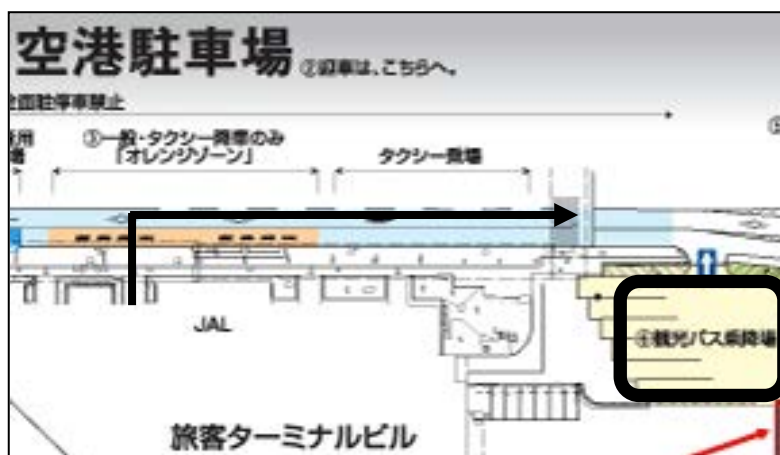
ホテルまでのアクセス

アクセス



- 松山観光港より車で40分
- J R松山駅より車で30分
- 松山空港より車で40分
- 松山自動車道 松山ICより車で35分
- 西瀬戸自動車道“しまなみ海道” 今治ICより国道317号経由で車で40分

●松山空港・J R松山駅 送迎バス乗り場



<松山空港送迎バス乗り場>

到着口を出て歩道沿いを右側に進んでください。観光バス乗降場が送迎バス乗り場になります。



<J R松山駅送迎バス乗り場>

改札を出て右側に進んでください。日本通運(株)松山支店前が送迎バス乗り場になります。